

RSウイルス感染症が急増しています

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 7	1	百日咳	↗ 1	0
RSウイルス感染症	↗ 150	106	ヘルパンギーナ	↘ 38	39
咽頭結膜熱	↘ 11	24	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 122	117
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 74	45	急性出血性結膜炎	↗ 1	0
感染性胃腸炎	↗ 399	320	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 26	27
水痘	↗ 22	15	細菌性髄膜炎	↗ 3	0
手足口病	↗ 116	88	無菌性髄膜炎	↘ 1	2
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 7	2	マイコプラズマ肺炎	↗ 12	11
突発性発疹	↘ 26	41	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 RSウイルス感染症
 流行性耳下腺炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 感染性胃腸炎 : 菊池
 手足口病 : 菊池
 流行性耳下腺炎 : 八代
 流行性角結膜炎 : 有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
1 熊本市保健所	1	53	4	52	95	2	52	3	8	0	5	17	1	19	3	1	9	0	0
2 山鹿保健所	0	0	0	0	18	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	0	27	2	3	127	2	28	1	9	0	10	27	0	0	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	0	0	0	4	25	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	1	7	1	0	25	0	3	0	1	1	4	40	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0
8 人吉保健所	0	2	0	0	7	10	0	0	2	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	5	29	2	2	53	1	9	1	4	0	9	14	0	7	0	0	0	0	0
10 宇城保健所	0	4	2	9	24	1	11	2	1	0	3	14	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	0	28	0	1	22	6	12	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0
計	7	150	11	74	399	22	116	7	26	1	38	122	1	26	3	1	12	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフルエンザ	7	0	0	0	1	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小児科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	150	9	34	70	28	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	11	0	0	3	2	2	0	3	0	0	0	0	1	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	0	2	4	3	13	14	5	6	6	2	3	9	1	6							
感染性胃腸炎	399	1	26	56	61	49	41	30	20	21	18	7	32	9	28							
水痘	22	0	2	7	4	1	0	1	0	3	0	2	2	0	0							
手足口病	116	2	13	43	26	22	4	2	0	1	0	2	0	0	1							
伝染性紅斑	7	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	1							
突発性発疹	26	0	9	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	38	0	5	13	9	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0							
流行性耳下腺炎	122	0	1	4	11	18	26	19	12	14	5	4	7	0	1							
眼科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	26	0	1	1	2	0	1	0	2	0	0	0	1	1	2	3	4	4	3	1		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2					
無菌性髄膜炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	12	0	3	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0						
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						

RSウイルス感染症が急増しています

今週のRSウイルス感染症の報告数は150件で、先々週から急増しています。RSウイルス感染症は、乳児が感染する感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにすべての小児が感染するといわれています。特に、生後6か月以内の乳児がRSウイルスに初めてかかった場合、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を起こすことがありますので、生後6か月以内の乳幼児は、感染しないように注意しましょう。

感染性胃腸炎の流行に備えましょう

冬場に流行する感染性胃腸炎の原因の多くは、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものです。特にノロウイルスは感染力が強く、少量でも発症するのが特徴です。ノロウイルスによる感染性胃腸炎はヒトからヒトへの感染と、汚染した食品を介しておこる食中毒に分けられます。感染から発症までの期間は24~48時間で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱です。通常、これらの症状が1~2日間続いた後に治癒しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化することがありますので、特に注意が必要です。ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療も対症療法に限られますので、以下の予防対策を徹底しましょう。

- ①最も大切なことは丁寧に手を洗うことです。特に食事前、トイレの後、調理前後は、石けんで丁寧に洗いましょう。
- ②便や嘔吐物を処理するときには、衛生面に注意しましょう。
- ③食品からの感染を防ぎましょう。加熱処理はウイルスの活性を失わせる有効な手段です。



KKT医療ナビ!

Dr. テレビたん

KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課